

財務省第13入札等監視委員会 平成29年度第4回定例会議審議概要

開催日及び場所	平成30年6月14日（木） 熊本国税局第1会議室	
委員	北里 敏明（北里敏明法律事務所 弁護士）	
	諏佐 マリ（熊本大学 法学部 准教授）	
	山西 佑季（熊本県立大学 総合管理学部 准教授）	
審議対象期間	平成30年1月1日（月）～ 平成30年3月31日（土）	
抽出事案	4件	（備考）
競争入札（公共工事）	0件	
随意契約（公共工事）	0件	
競争入札（物品役務等）	4件	<p>契約件名 : 湖東住宅ほか2外装吹付材分析調査業務委託(庁29)          契約相手方 : エヌエス環境株式会社熊本営業所          法人番号 : 4010401004900          契約金額 : 691,200円(税込)          契約締結日 : 平成30年1月9日          担当部局 : 九州財務局</p> <p>契約件名 : シュレッターの購入等          契約相手方 : 株式会社紙弘          法人番号 : 3330001000830          契約金額 : 12,312,000円(税込)          契約締結日 : 平成30年1月30日          担当部局 : 熊本国税局</p> <p>契約件名 : 工業用内視鏡1式の購入          契約相手方 : 有限会社南部測量機          法人番号 : 3360002009281          契約金額 : 1,108,080円(税込)          契約締結日 : 平成30年1月22日          担当部局 : 沖縄地区税関</p> <p>契約件名 : ガスクロマトグラフ等の購入          契約相手方 : 株式会社森山商事          法人番号 : 4360001002088          契約金額 : 14,612,400円(税込)          契約締結日 : 平成30年1月23日          担当部局 : 沖縄国税事務所</p>
随意契約（物品役務等）	0件	
うち応札（応募）業者数 1者関連	0件	
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	以下のとおり	
委員会による意見の 具申又は勧告の内容	なし	

意見・質問	回答
<p><b>【事案1】</b>  <b>契約件名</b> : 湖東住宅ほか2外装吹付材分析  <b>調査業務委託(庁29)</b>  <b>契約相手方</b> : エヌエス環境株式会社  熊本営業所  <b>法人番号</b> : 4010401004900  <b>契約金額</b> : 691,200円(税込)  <b>契約締結日</b> : 平成30年1月9日  <b>担当部局</b> : 九州財務局</p> <p>本件のように、参加資格を幅広く設定することで、大きな会社が入札に参加し、入札金額が下がり支出の抑制が図られる場合もある。  このような規模の経済が働きやすい業務の場合、参加資格(等級)を柔軟に運用することもありかと思う。</p> <p>落札率が低かったが、適正に履行されたのか。</p> <p>過去と同様案件2件についても低落札となっているのか。また、今回の契約相手方は参加したのか。</p> <p>今回の契約相手方のように安く受注できるのであれば、他の会社も同じような金額で受注できるのではないか。</p>	<p>本件のような業務の場合、所有する設備を遊ばせないために、設備を所有する業者が、低い金額で入札に参加してくる傾向はある。  入札参加資格の等級については、競争性の確保等の観点から、案件ごとに検討することになると考えている。</p> <p>当局も、現場での試料採取の際には立ち会っており、仕様書に定められた採取法での作業実施を確認している。また、代理人届に記載した者が採取しているか資格証の確認も行っている。</p> <p>平成28年度に実施した随意契約案件の落札率は、1件が80%、もう1件が55%という結果だった。  本件契約相手方であるエヌエス環境株式会社は参加していない。</p> <p>本件において、予定価格の大半を占めている定性分析費用については、定期刊行物等に単価が掲載されているが、当局の予定価格はそれよりも安く設定している。また、今回の契約相手方は、専門の分析センターを設置している規模の大きい会社であり、発注のタイミングなどの要因もあって今回の入札のような入札金額になったのではないかと考えている。</p>
<p><b>【事案2】</b>  <b>契約件名</b> : シュレッダーの購入等  <b>契約相手方</b> : 株式会社紙弘  <b>法人番号</b> : 3330001000830  <b>契約金額</b> : 12,312,000円(税込)  <b>契約締結日</b> : 平成30年1月30日  <b>担当部局</b> : 熊本国税局</p> <p>仕様書には、基本性能が記載されているが、この仕様を満たすメーカーは限られてくるのか。</p> <p>予定価格の作成に当たっては、秘密を保持する者を最低限の人数としているか。</p>	<p>事務の効率性を踏まえて裁断サイズを定めており、今回の仕様を満たす機器を販売しているメーカーは、カタログ等で確認したところ2社該当する。</p> <p>必要最低限の人数で予定価格調書を作成している。また、作成した予定価格調書は、開札まで封筒に封印することで守秘義務を保っている。</p>

意見・質問	回答
<p><b>【事案3】</b>  <b>契約件名</b> : 工業用内視鏡 1 式の購入  <b>契約相手方</b> : 有限会社南部測量機  <b>法人番号</b> : 3360002009281  <b>契約金額</b> : 1,108,080円(税込)  <b>契約締結日</b> : 平成30年1月22日  <b>担当部局</b> : 沖縄地区税関</p> <p>仕様書はオリンパス社製の機器をモデルに作成したとのことであるが、他のメーカーでも取り扱っている機器はあるか。</p> <p>調達物品は税関における各種の検査で活用されているとのことであるが、1台の購入ではなく、複数台の購入は検討されなかったのか。</p> <p>契約金額が少額であり、調達に係る行政コストを考慮すると、随意契約による契約方式でもよかつたのではないか。</p> <p>落札率が100%となっているが、落札金額が予定価格と同額となった理由について説明願いたい。</p>	<p>工業用内視鏡は複数のメーカーで取り扱っている。オリンパス社においては仕様書にある機器以外にも多種多様な製品を製作している。</p> <p>検査機器の配備状況を考慮し、また、予算上の都合もあったことから今回の調達は1台の購入とした。</p> <p>随意契約が可能な金額ではあったが、財務省の調達方針があり、契約の透明性、公平性を考慮し、一般競争入札を実施した。</p> <p>予定価格調書を作成するにあたり、2者から参考見積書を徴取し、安価であった見積金額を予定価格としたところ、予定価格に採用した者が入札に参加し、落札者となった。  落札者の入札金額は予定価格に採用した見積金額と同額であったため、落札率が100%となった。  契約相手先にヒアリングを行ったところ、見積書は最大限の値引きをした金額で作成していたため、入札の際に更なる値引きを行うことができず、見積金額と同額の金額で応じたとのことであった。</p>
<p><b>【事案4】</b>  <b>契約件名</b> : ガスクロマトグラフ等の購入  <b>契約相手方</b> : 株式会社森山商事  <b>法人番号</b> : 4360001002088  <b>契約金額</b> : 14,612,400円(税込)  <b>契約締結日</b> : 平成30年1月23日  <b>担当部局</b> : 沖縄国税事務所</p> <p>機器の調達により、事務処理の効率化は、どの程度図られているのか。</p> <p>仕様書において、複数箇所に「特定のメーカー製品と同等以上の機能を有し」とあるが、結果的に限られてしまうのではないか。</p> <p>仕様書に据付作業者の条件として記載された「本業務と同様な作業実施実績があること。」の文言は、入札参加資格に記載しなくてもよいのか。</p>	<p>アルコール測定システムの調達により、処理時間は従来の5分の1に短縮されることとなり、削減できた事務量をほかの事務に活用できると考えている。</p> <p>同等以上の機能を有した製品は他に少なくとも1社あるが、既存の調達機器と接続可能なものであることも条件としており、最終的には特定メーカーの製品になると思う。</p> <p>従来から入札参加資格ではなく、仕様書に記載している。</p>